

【ジョブコーチによる障害者の職場適応支援】 事例④

対象事業所	有料老人ホームW	
支援対象者	Dさん 30代男性 身体障害者手帳4級・療育手帳C判定	
担当業務	ホーム内の清掃・備品交換補充等	
支援導入の経緯	採用されて6年が経過。ホーム長や指導担当者が異動で変わった頃から、作業スケジュールにはない作業を行ったり精度が落ちるなどの課題が出てきたケース。	
支援導入時の状況 課題点など	【支援対象者】 <ul style="list-style-type: none"> ・作業が自己流になっており、作業スケジュールにない作業を行ったり精度が落ちている。 ・注意をしても同じことを繰り返してしまう。 ・報告・連絡・相談についても自己流になっており、ホーム長や指導担当者が望む報・連・相になっていない。 	【対象事業所】 <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者の作業精度が低くホーム内が綺麗になっていない。 ・指摘や注意をしても聞いてもらえず困っている。 ・大事なことを報告してもらえず困っている。
課題点の原因として 考えられるもの	【支援対象者】 <ul style="list-style-type: none"> ①前任の担当者やホーム長から作業手順や道具の使い方を具体的に教わっていない。 ②ホーム長や担当者の指示や指摘内容を理解出来ていない。 ③どんなことを報告すれば良いのか分からない。 	【対象事業所】 <ul style="list-style-type: none"> ①前任の担当者やホーム長から引き継ぎをほとんど受けてなく、作業指導は行われているものと捉えていた。 ②③表面的なやり取りが出来ているため、指摘や注意に対して「理解出来ているはず」という認識のままだった（療育手帳を所持していることも引き継がれていなかった）。
支援の実施	【支援対象者支援】 <ul style="list-style-type: none"> ①一つひとつの作業について改めて作業手順を分析・確定し、道具の使い方も含めて習得に向けて支援した。 ②指摘や注意事項について理解したかの確認を行い、理解出来ていない場合は理解しやすいように伝え直した。 ③報告する必要があるものについて整理し、具体的な場面を通して助言を行った。 	【対象事業所支援】 <ul style="list-style-type: none"> ①一つひとつの作業について見直し、支援対象者に適した作業スケジュール及び作業量を提案し導入した。 ②指摘や注意する際に具体的に平易な言葉で伝えるよう助言した。 ③必要な報告内容について具体的に明示し、報告場面や時間の設定を行った。
現在	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した作業スケジュールに対して概ね時間通り作業出来ている。 ・作業終了の報告は良く出来るようになったと評価されている。 ・道具や洗剤の使い方については助言・確認が必要である。 ・精度保持のため、事業所より定期的な声掛け（要求水準を常に明確にしてゆくこと）が必要である。 	